

活動報告書



2022年4月→2023年3月

認定NPO法人アンビシャス
沖縄県難病相談支援センター

ACTIVITY REPORT 2022



湯地 三代子 (ゆじ みよこ) さん

脊髄性筋萎縮症類似疾患 会報誌NO. 250より

難病患者よ大志を抱け

難病患者の自立を支援します。

An intractable disease patient
be ambitious!

We will help you to become independents
from your sickness.

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

長く続いたコロナの影響はようやく落ち着いてきました。アンビシャスでは2022年度も多くの皆様の心温まるご支援により、難病の方々へ難病情報誌の提供や、医療相談会等の支援活動を行うことが出来ました。

また2021年度より小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業に新たに取り組み、関係機関への周知と連携強化を図っているところです。

成人・小児を問わずこれまで以上にスタッフのスキル向上に努めるとともに、円滑な支援活動を行う上で沖縄県や各保健所の行政機関、拠点病院をはじめ各地域の医療機関や労働関係との連携に加え学校などの教育機関との連携も更に深め、小児慢性児を含む難病当事者、家族の皆様が安心してご相談が受けられる様、尚一層努めてまいります。

難病を抱えて日々を過ごされている方々の「自分らしく、夢をあきらめさせない」取り組みへ、今後ともお力添えを賜ります様、心よりお願い申し上げます。

最後に2022年度も数多くの方々や団体様に賛助会員としてアンビシャスの活動を支援していただきました。また多くの皆様より多額のご寄付を頂戴しています。

私共が難病支援活動に取り組むに当たり、このように多くの皆様のご支援により円滑な活動運営が可能となっています。ここに改めて心より御礼申し上げます。



認定NPO法人
アンビシャス
理事長

迫 幸治
Yukiharu Sako

President
Non-Profit
Organization
Ambitious



認定NPO法人
アンビシャス
副理事長

照喜名 通
Toru Terukina

Vice-President
Non-Profit
Organization
Ambitious

2022年度（年度）事業報告

（2022年4月1日～2023年3月31日）

事業成果

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がけた。2022年度はコロナ禍における「相談・支援」の向上を重点的に各種講演会、研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指した。

1 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

コロナ禍における「相談・支援」の選択肢として、オンライン相談も新たに設けた。また、オンラインが出来ない場合には感染予防対策を講じ、少人数・短時間での面談とした。

2021年度から開始した小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の充実を図るため、個別支援においては保健所や医療機関など各種関係者と連携支援を実施。当事者の実態を把握しようと、交流会を企画開催した。また、当事業の周知として学校関係や小児科などへの周知活動を開始。まだ薬局やその他関係機関への広報には至っておらず次年度も継続していく。

2 障害福祉サービス事業

就労継続支援 B型事業所の開設に向けて資金調達の支援を受け、難病患者へ「沖縄指笛」制作の仕事を提供してきたが、高効率・高賃金化の道筋が見いだせなくなった。現在は、事業所の開設及び沖縄指笛の製作提供については一時中断し、今後の難病患者の就労支援については、「何が求められ」「どうすればできるのか」等、再度原点に戻り患者本人およびスタッフと対話を進め模索していく方向で検討中。

3 難病に関する周知啓発活動

これまで通り、難病情報提供を目的に難病情報誌の毎月発行を継続。更にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用しイベント等の周知と拡散を始めた。また、当団体の紹介カードを作成し関係機関に配布設置を協力依頼していることは次年度も継続していく。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税込)
1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A) 沖縄県委託事業 B) 沖縄県補助事業 C) 沖縄県小慢自立支援 D) 那覇市小慢自立支援 E) 患者会支援等 F) 各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅等	A) 4名 B) 4名 C) 4名 D) 4名 E) 5名 F) 6名	A) 相談件数 1265件 B) 貸与累計 21件 C) 相談件数 33件 D) 相談件数 32件 E) 広報支援 18団体 F) 医療相談会 47組 看護学生実習 8名 ピアサポート 18名	14,028 (内県委託 9,240)
2) 障害者福祉サービス事業	沖縄指笛製作 会報誌 ICT 寄稿・編集	随時	事務局	3名	製作作業 1名 寄稿各月 3名+ 2名	3,540
3) 難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動（会報誌発行、WEB、SNS 他） 世界希少難治性疾患の日	通年 2/28	事務局	5名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加申込 95名	4,593
4) その他目的を達成するための事業						

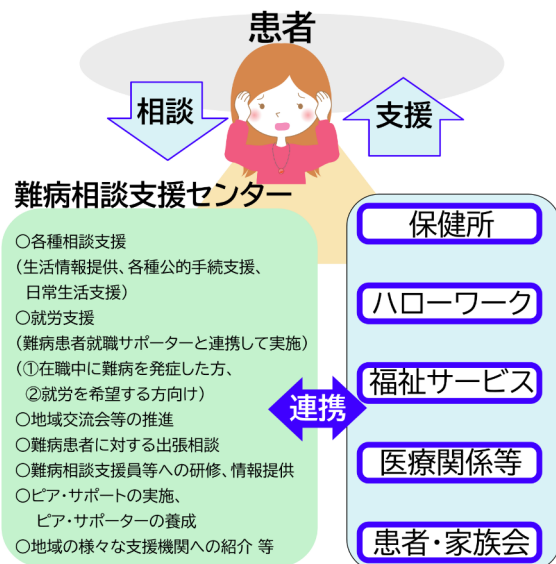
支出額計 22,161

難病相談支援センター事業(県委託)2022年度

「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」においても、難病相談支援センターは重要な機関の一つとして位置づけられ、さらなる機能向上が求められている。

「難病の患者が地域で安心して療養しながら暮らし続けていくことができるよう、難病の患者に対する相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行う拠点施設として設置され、難病の患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安の解消、孤立感や喪失感の軽減を図るとともに、難病の患者等のもつ様々なニーズに対応し、医療機関をはじめとする地域の関係機関と連携した支援対策を一層推進するもの」とされている。

沖縄県においては、平成17年からアンビシャスが受託し、難病相談支援事業を行っています。地域連携は、保健所を中心に、労働関係者はハローワークや沖縄産業保健総合支援センターと、医療関係者は医師、訪問看護師やセラピストと連携。また患者・家族会としてはリーダー研修などを実施している。



相談者、相談方法別相談件数（延べ件数）

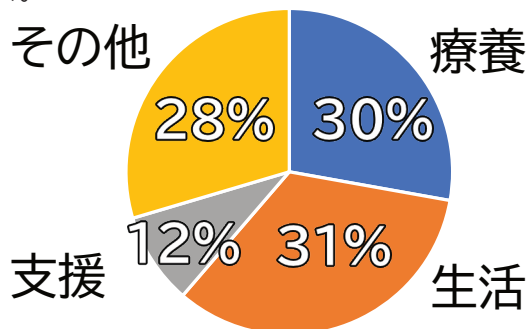
2022年4月1日～2023年3月31日

事項	相談者			計
	患者	家族	その他	
電話	491	141	264	896
面談	100	33	17	150
メール	85	30	35	150
その他	37	23	9	69
計	713	227	325	1265

*相談件数の「その他」は、支援者、患者会、友人・知人など、患者、家族以外全て。
*非常時電源確保相談件数、小児慢性自立支援、関係機関との調整などを除く。

相談対象者の相談内容件数（重複カウントあり）

病気の理解	219
治療法の選択の意思決定	80
治療計画	22
医療機関・医師	68
療養場所	27
病状管理	90
栄養・代謝管理	0
医療処置管理	19
薬物療法	3
コミュニケーション方法	94
日常生活動作	23
保健・医療・福祉	41
療養生活全般	157
家族	66
経済	107
学業	9
就労	299
療養生活支援態勢	180
支援方法	70
センター事業関係	552
当事者活動への支援	45
その他	1



主な相談内容

1. センターが実施している機器の貸出、患者家族の交流会などへの参加に関する内容が多く占める。
2. 療養生活における難病を抱えての不安や課題・緊急時の対処など。
3. 就労においては、難病を抱えてどう就労に向き合うかなど
4. 医師や医療機関の選択や主治医とのコミュニケーションなど。

相談内容の詳細はこちらから→

<http://www.ambitious.or.jp/about/kessan/2022/#itaku>



小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(委託)

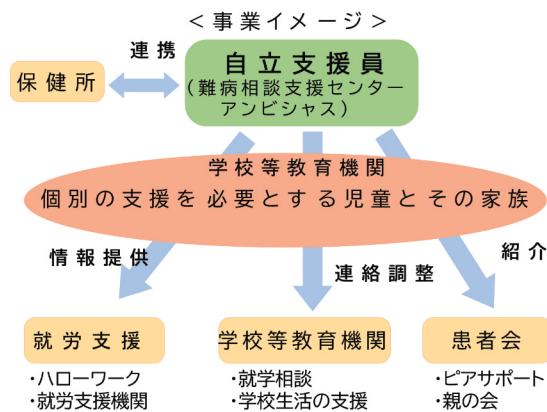
(沖縄県と那覇市から委託を受けている)

目的

小児慢性特定疾病児童等の成人後の自立が円滑に進むよう、小児期から成人期にかけて切れ目のない支援を行う必要がある。このため、小児慢性特定疾病児童等自立支援員による各種支援計画の作成、関係機関との連絡調整等を実施することにより、小児慢性特定疾病児童等の自立促進を図る。

事業対象

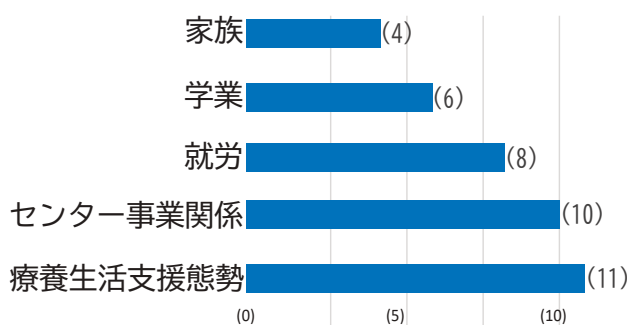
- 1 小児慢性特定疾病児童等の健康、教育等の状態に照らして、成人後に、生活の自立や一般就労が可能と考えられる児童等のうち、円滑な自立・就労のために、個別支援を行うことが適当と思われる者を対象とする。
- 2 支援の時期については、必ずしも就職活動中又はその直前の時期に限らず、必要がある場合には、幼少期からの支援を実施する。
- 3 障害者総合支援法等の障害者福祉施策や発達障害者支援法に基づく発達障害者支援施策等による支援を行うことが適当な者については、まずはそれらによる対策を優先させる。



年齢別・相談方法別相談件数 (2022年度) 県委託分のみ

事項	年齢区分					計
	11歳以下	12-14	15-17	18歳以上	不明	
電話相談	13	3	4	8	2	30
面談	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	0	0	0	3
計	13	6	4	8	2	33

相談支援内容(上位5つ)



※那覇市委託分、日程調整等の件数は別途記載

【講演会・研修会等】

- 8月1日(月曜日) 『高校生10代しゃべり場』
- 12月26日(月曜日) 『第2弾冬休み～難病10代しゃべり場～』

【関係機関との連絡調整等】

- 6月1日(水曜日) 13:30~14:30 県立南部医療センターとの情報交換会
- 9月6日(火曜日) 11:00~12:30 対象者関係者顔合わせ(ハローワーク、学校教員)

【周知広報】

事業開始にあたり、各種関係機関への周知を実施

設置場所

1. 県内高等学校(公立(全日/定時)・私立): 計80校
2. 医療機関(病院・クリニック): 5施設(+診察室3) 計8か所
3. 保健所・本庁ロビー: 7か所



設置イメージ

案内カード→



本事業の詳細はこちらから↓



<http://www.ambitious.or.jp/syouni/>

在宅療養者非常時電源確保事業(県補助事業)

目的

在宅において人工呼吸療法を受けている患者（以下「在宅療養患者」という。）の停電時等における安全確保のため、県は在宅療養患者に対する人工呼吸療法を実施する医療機関等に対し、在宅療養患者に無償で貸与する予備電源等の物品の購入に要する経費について補助を行い、緊急時における在宅療養患者の安全及び安心をより確実なものとすることを目的とする。医療機関・保健所と連携し、アンビシャスが説明・設置を実施。

背景

2011年に起きた東日本大震災に伴う計画停電により人工呼吸器を装着した患者が困難をきたした。また、同年沖縄県内では巨大台風接近に伴い、人工呼吸器を装着した大人や子どもの安心を支えるため本事業が実施された。

意義

他府県でみられる貸与事業は、単に発電機等の貸与機器引き渡しだけの実施で終わるが、沖縄県では機器の選定における利点やリスクを事前説明。設置後もより安全に機器使用をし、より安心な療養生活を支える。

また、利用者への説明は保健所と連携し、レスキューファイル、家具転倒防止、備蓄など防災知識の向上を目指している。成人・小児のバッテリー等（発電機含む）貸与事業を行う中で、災害時の対応等をきめ細かく啓発している。

2022年度の予算と執行件数

対象	予算	申請者		確定	
		人数	件数	人数	件数
小児	2,208,000	25	42	9	14
成人	1,101,000	7	7	7	7

(小児)：小児慢性特定疾病受給者、(成人)：指定難病受給者

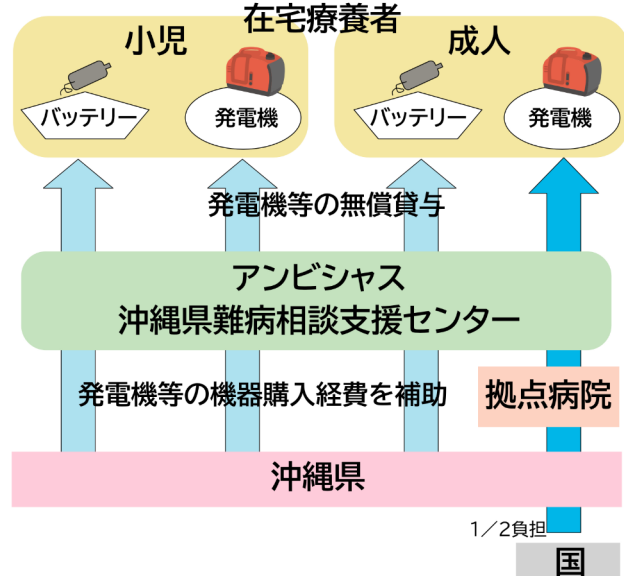
課題

貸与後、運用・保守点検は本来、利用者自身で管理すべきだが、定期点検できずに故障したケース、機器の耐用年数経過で稼働しないケースが発生している。

予算より多くの申請があり抽選で対象を決定したことから落選者は災害対策が出来ていない。増加した理由として近年の各地での災害により「あすは我が身」と防災意識が向上した点、貸与機種が人気の機種に変更となった点、人工呼吸器の対象機器が増えた点が想定される。



人工呼吸器外部バッテリー・発電機を貸与する流れ



貸与対象発電機の種類 (指定難病(成人)は”C”のみ)



A：発電機
(ガソリン式)
YAMAHA EF2500i



B：発電機
(プロパンガス)
Denyo GE-900P



C：発電機
(プロパンガス)
HONDA EU9iGP



D：ポータブル蓄電池
Jackery 1000



E：ポータブル蓄電池
EcoFlow EFDELTA

貸与事業の詳細
はこちらから→



患者会・当事者活動支援

目的

同じ病を抱え不安を抱えた患者・家族のよりどころとする患者会の設立を発起人および保健所と連携し支援してきた。自主運営が出来るまでの支援と自主運営後の広報・研修支援をすることで、不安を抱えている患者・家族を支える社会資源とし連携していく。

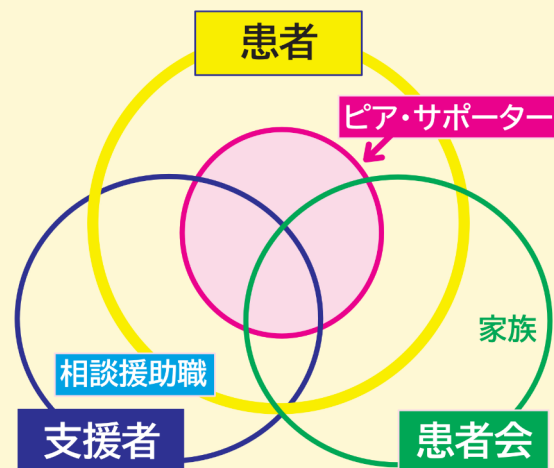
また、難病ピア・サポートとは、難病を抱えて生きる同じ立場の者同士の支え合いと位置づけ、同じ疾患の患者と出会う機会が少ない難病では、患者は孤立感を感じる事が多く、専門職による相談支援に加え、「共感」をキーワードとするピア・サポートは重要な役割を持っていることから、ピア・サポーター養成の実施と活動の支援をすることを目的とする。

背景

アンビシャス立上げ当時の患者団体は2団体のみと少なかった。自律した患者会の設立支援を保健所と連携し、発起人を募り設立まで支援を行い、現在は18団体までとなった。その後は新たな疾患の患者会として設立の要望は減少している。患者会という会則を定め会計監査まで設置する組織形態は重荷とし会費を徴収しない「交流会」として組織形態も生まれてきている。

役員の成り手がいないなど後継者問題やコロナ禍においては不安を感じる患者・家族が交流を求める場として役割を果たせていない。また、ITに不慣れの為か、オンライン交流会を開催している団体は少ない現状がある。

ピア・サポーターの位置づけ



(出典:平成26-27年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))研究「難病患者への支援体制に関する研究」)班「難病相談支援センターの役割」に関する分担研究より抜粋・一部改変)

県内患者会・交流会

患者会 11団体
交流会 7団体
(詳細は下記QRコードから参照)



全国パーキンソン病友の会沖縄県支部の様子

例年通りの継続支援

- スケジュール等の周知支援(会報誌・WEB・新聞)/毎月
- ヘルスケア関連団体学習会(患者会リーダー向け学習会)VHO-net/オンライン開催2回
- 印刷支援・機器貸出など/随時

オンライン交流会

- ゆんたく会
オンライン開催: 12回
参加人数: のべ 42名
各疾患ごとの患者会とは別に、疾患に関係なく患者同士の交流会(ゆんたく会)を試験的にオンラインで実施中。他県の患者交流会に合流させてもらい、相互の活性化を図る。将来的に自助グループとして自主運営できる自律を目指す。

ピア・サポーター研修

- 基礎編
オンライン開催:5日間
参加人数: 12名
- 応用編
オンライン開催:5日間
参加人数: 9名



県内患者会の
詳細はこちらから



http://www.ambitious.or.jp/soudan/group_list/

難病情報周知啓発活動

目的

難病に関する正しい知識をもち療養にあたることができよう毎月会報誌を発行して難病情報を届ける。

背景

難病は希少な疾病のため身の回りに同じ病気を抱える人が少なく、情報収集をインターネットの検索に頼ることが多い。本来は病院から情報を得ることが大切であるが、短い診察時間では限界がある。どこの誰に相談したら良いのか分からないで孤立している方は少なくない。

活動内容

難病情報誌は、紙媒体での郵送を基本とし、視覚障害者向けとして音声版CD、メールマガジンでの同時発信としている。また、気軽に情報を得られることを目指し、利用者の多い公式LINEでの発信も実施。

難病患者の体験談、各種講演会等のイベント紹介、患者会で開催する定例会等の周知、保健所からのイベントなどの周知に加え、患者力の向上を目指す加藤眞三医師によるコーナー、心の悩みや不安解消を目指す公認心理師（臨床心理士）鎌田依里氏のコーナー、正しい服薬を目指す薬剤師会の吉田典子氏のコーナーをもうけている。



難病会報誌、相談会など
お役立ち情報をお届け♪

LINE公式
アカウント

スマホのQRコードを
スキャンしてください

スマホ画面のイメージ



会報誌の表紙

2022年度 239号～250号の表紙の方々
(バックナンバーは下記QRコードから)

<p>239号 バージャー病</p> <p>239号 バージャー病</p>	<p>240号 微小変化型ネフローゼ 症候群</p> <p>240号 微小変化型ネフローゼ 症候群</p>	<p>241号 プラダー・ウィリ症候群</p> <p>241号 プラダー・ウィリ症候群</p>
<p>242号 先天性小眼球</p> <p>242号 先天性小眼球</p>	<p>243号 潰瘍性大腸炎</p> <p>243号 潰瘍性大腸炎</p>	<p>244号 孤発性脊髄小脳変性</p> <p>244号 孤発性脊髄小脳変性</p>
<p>245号 全身性エリテマトーデス</p> <p>245号 全身性エリテマトーデス</p>	<p>246号 多発性硬化症</p> <p>246号 多発性硬化症</p>	<p>247号 多発性硬化症、クローン 病</p> <p>247号 多発性硬化症、クローン 病</p>
<p>248号 網膜色素変性症</p> <p>248号 網膜色素変性症</p>	<p>249号 下垂体前葉機能低</p> <p>249号 下垂体前葉機能低</p>	<p>250号 脊髄性筋萎縮症類似疾</p> <p>250号 脊髄性筋萎縮症類似疾</p>

会報誌一覧はこちらから



<http://www.ambitious.or.jp/magazine/>

機器無料レンタル事業（お試し用）

■ コミュニケーション支援関連機器



アンビシャスでは難病により人工呼吸器を装着され、ご自身の声で想いが伝えられなくなった方々の支援の一つとして、コミュニケーション支援機器やその関連機器の無料レンタルを実施している。

コミュニケーション支援機器の購入を検討するにあたり、その機器が使用者本人の身体状況と適合しているか、その機器を操作するスイッチは何が最適なのか等を購入前に実機で試すことにより、納得のいく機器の選択をサポートすることを目的とする。

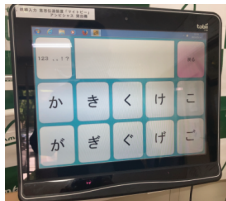
● 意思伝達装置（本体） 8種類 計 12台



ファインチャット

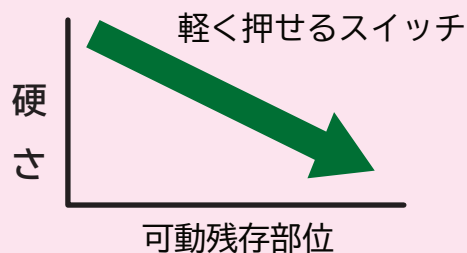


伝の心



視線入力装置

利用者疾患の進行に応じ、動作可能な身体部位にあったスイッチを速やかに適合する必要がある。



● 意思伝達装置用（スイッチ） 11種類

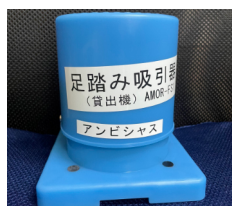


他オリジナルの
手作りスイッチ、
手作りチャイム数種類

2022無償レンタル件数 131件
2011-2022累計 1,184件

■ その他福祉機器

低圧持続吸引機、足踏み吸引機、上肢支持アームMOMOなど



■ ポータブル蓄電池

蓄電池 8種類 16台 ソーラーパネル 4種類 7台



これまでの貸出機器贈呈の団体及び支援者
米国福祉事業協会(AWWA)様、沖縄国際婦人クラブ(OIWC)様、那覇西ロータリークラブ様、他匿名(5名)様
クラウドファンディングによる「マイトビー」購入支援者様、田辺三菱製薬様、JackeryJapan様

皆さまのご支援でこのように貸出機器が充実し、
利用者の方々に大変喜んで頂いています。
誠にありがとうございます！

詳細はこちらから



2023年4月17日

特定非営利活動法人アンビシャス
理事長 迫 幸治 殿

特定非営利活動法人アンビシャス

監事 大城 浩 印



特定非営利活動法人アンビシャス 2022年度

監事は、特定非営利活動法人アンビシャスの2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における事業報告書及び活動計算書及び貸借対照表を監査した結果、次のとおり報告いたします。

監査の方法及び概要

2022年度の会計帳簿及び領収書類などを閲覧し、必要事項について報告を受け監査を行いました。

活動計算書及び貸借対照表は、特定非営利活動法人アンビシャスの定義に従い、その財産及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

財務報告 活動計算書 Activity statement

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	39,000	
賛助会員受取会費	1,791,000	1,830,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	8,678,121	8,678,121
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	250,000	
受取地方公共団体補助金	3,309,000	3,559,000
4. 事業収益		
相談事業収益	9,457,000	
就労支援事業収益	4,123,619	
広報事業収益	1,020,000	14,600,619
5. その他収益		
受取利息	123	
雑収益	704,253	704,376
経常収益計		29,372,116
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,528,569	
法定福利費	1,495,544	
福利厚生費	5,690	
人件費計	13,029,803	
(2) その他経費		
売上原価	270,368	
作業・就労支援	634,709	
報償費	287,713	
印刷製本費	1,103,899	
旅費交通費	341,643	
通信運搬費	1,585,989	
消耗品費	3,789,984	
減価償却費	30,934	
地代家賃	814,410	
水道光熱費	171,341	
賃借料	11,088	
保険料	1,000	
研修費	30,000	
接待交際費	11,000	
雑費	47,355	
その他経費計	9,131,433	
事業費計		22,161,236
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,362,872	
法定福利費	215,467	
福利厚生費	211,749	
人件費計	3,790,088	
(2) その他経費		
印刷製本費	28,280	
減価償却費	28,945	
地代家賃	120,000	
修繕費	4,500	
旅費交通費	64,744	
通信運搬費	157,534	
租税公課	699,600	
接待交際費	4,000	
消耗品費	759,182	
諸謝金	533,500	
支払手数料	118,758	
雑費	167,800	
その他経費計	2,686,843	
管理費計		6,476,931
経常費用計		28,638,167
当期経常増減額		733,949
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		733,949
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額		663,949
前期繰越正味財産額		17,493,486
次期繰越正味財産額		18,157,435

財務報告 貸借対照表 Balance sheet

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,596,926		
棚卸資産	123,015		
前払費用	89,500		
未収金	5,935,771		
未収還付法人税等	9		
立替金	1,711		
流動資産合計		17,746,932	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	28,874		
有形固定資産計	28,874		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資有価証券	3,000,000		
投資その他の資産計	3,000,000		
固定資産合計		3,028,874	
資産合計			20,775,806
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	549,897		
未払費用	1,263,258		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	277,600		
預り金	69,015		
カード未払金	388,601		
流動負債合計		2,618,371	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,618,371
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,493,486	
当期正味財産増減額		663,949	
正味財産合計			18,157,435
負債及び正味財産合計			20,775,806

財務報告 財産目録 Property inventory

2023年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	31,127	
沖縄銀行普通預金	3,649,836	
沖縄海邦銀行普通預金	3,728,699	
沖縄海邦銀行普通預金	565,207	
沖縄海邦銀行普通預金	2,200,999	
ゆうちょ銀行振替口座	335,487	
ゆうちょ銀行通常貯金	565,186	
琉球銀行普通預金	475,245	
沖縄労働金庫普通預金	45,140	
棚卸資産		
販売用電源装置	37,560	
販売用指笛	15,147	
郵便切手	70,308	
前払費用		
4月分家賃	55,000	
4月分駐車料金	18,000	
翌期以降手数料	16,500	
未収金		
地方公共団体委託金	5,086,000	
地方公共団体補助金	730,000	
広告掲載収益	60,000	
未精算経費・事務委託料	50,770	
クレジットカード・コンビニ決済寄付	9,000	
指笛販売収益	5,800	
販売未収備忘価額	1	
立替金		
雇用保険料	1,711	
未収還付法人税等		
当年度還付法人税等	9	
流動資産合計		17,746,932
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
貸与用備品	2	
事務所備品	28,872	
有形固定資産計	28,874	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資有価証券		
(株)パートナー	3,000,000	
投資その他の資産計	3,000,000	
固定資産合計		3,028,874
資産合計		20,775,806
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
3月分後納郵便料	92,057	
3月分会報誌印刷料	86,625	
3月分メールサービス	2,420	
3月分コピーカウンター料	17,572	
3月分原稿料	11,137	
3月分消耗品代	293,701	
3月分税理士報酬	36,168	
3月分水道光熱費	9,736	
3月分手数料	481	
未払費用		
3月分給与	1,263,258	
未払法人税等		
当年度法人税等	70,000	
未払消費税等		
当年度消費税等	277,600	
預り金		
源泉所得税	69,015	
カード未払金		
3月分カード決済諸経費	388,601	
流動負債合計		2,618,371
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,618,371
正味財産		18,157,435

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NP0法人 会計基準協議会）によっています。

1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

2. 固定資産の減価償却方法

定率法を採用しております。

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 重要な会計方針の変更

消費税等の会計処理方法は、従来税抜方式を採用しておりましたが、当期から税込方式により処理することといたしました。

3. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科目	相談事業	就労支援事業	広報事業	合計
(1) 人件費				
給料手当	7,532,569	2,700,000	1,296,000	11,528,569
法廷福利費	1,043,359	248,000	204,185	1,495,544
福利厚生費	0	0	5,690	5,690
人件費計	8,575,928	2,248,000	1,505,875	13,029,803
(2) その他経費				
売上原価	172,975	97,393	0	270,638
作業・就労支援	0	0	634,709	634,709
報償費	215,880	0	71,833	287,713
印刷製本費	25,500	100,664	977,735	1,103,899
旅費交通費	256,092	100	85,451	341,643
通信運搬費	248,092	198,000	1,139,925	1,585,989
消耗品費	3,524,127	122,479	143,378	3,789,984
減価償却費	0	14,460	16,474	30,934
値代家賃	756,000	58,410	0	814,410
水道光熱費	171,341	0	0	171,341
賃借料	11,088	0	0	11,088
保険料	0	1,000	0	1,000
研修費	30,000	0	0	30,000
接待交際費	0	0	11,000	11,000
雑費	40,425	0	6,930	47,355
その他経費計	6,312,769	592,506	3,087,435	9,131,433
合計	14,628,917	3,540,506	4,593,310	22,161,236

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は18,157,435円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	登記減少額	期末残高	備考
沖縄県補助金		3,309,000	3,309,000		沖縄県難病患者人工呼吸器外部バッテリー等貸与事業の補助金
ヘルスケア関連団体ネットワークの会助成金		200,000	200,000		「オンライン会議」の推進を支援する『VH0-net助成プログラム』
RDD開催助成金		50,000	50,000		世界希少・難治性疾患の日(RDD)公認開催助成金
合計	0	3,559,000	3,559,000	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	機種取得価値	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計費	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	3,090,048	0	0	3,090,048	△3,061,174	28,874
その他の有形固定資産	0	0	0	405,796	△405,796	0
無形固定資産	0					
ソフトウェア	988,400	0	0	988,400	△988,400	0
投資その他の資産	0					
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
合計	7,487,444	0	2	7,487,442	△4,455,370	3,028,874

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
受取寄付金	8,678,121	0	6,000,000
給与手当(事業費)	11,528,569	4,543,200	0
活動計算書 計	20,206,690	4,543,200	6,000,000

2022年度 寄付金一覧 DONATION LIST 1

2021年4月1日～2022年3月31日

合計139件

NO	月	日	名 前	金 額(円)
1	4	4	匿名	3,000
2	4	4	匿名	5,000
3	4	8	松井 玉恵 (物品:切手)	1,486
4	4	11	有限会社 麦飯石の水	47,689
5	4	11	大森 秀孝	5,000
6	4	12	匿名	5,000
7	4	12	赤嶺 竹哉	5,000
8	4	13	匿名	3,000
9	4	17	長濱眼科	3,000
10	4	18	匿名	2,000
11	4	19	匿名	10,000
12	4	21	匿名	1,000
13	4	21	株式会社 かね屋	1,000
14	4	28	驥尾の会 (4月分)	5,500
15	5	2	匿名 (物品:QUOカード)	3,800
16	5	4	匿名	3,000
17	5	6	大森 秀孝	3,000
18	5	8	伊良部 鳳大	5,000
19	5	9	大森 秀孝	3,000
20	5	11	竹尾 智菜美	1,000
21	5	12	玉城 涼真	10,000
22	5	13	匿名	3,000
23	5	14	上地 由紀子	3,000
24	5	17	長濱眼科	3,000
25	5	18	大森 秀孝	3,000
26	5	19	医療法人輝道会 ひめゆり歯科医院	7,986
27	5	22	イオン琉球株式会社	125,300
28	5	23	株式会社 かね屋	1,000
29	5	23	匿名	1,000
30	5	24	大森 秀孝	3,000
31	5	25	大森 秀孝	3,000
32	5	27	渡久山 光宏	2,500
33	5	27	平良 誠	1,500
34	5	27	座覇 太美子	1,500
35	5	27	大森 秀孝	2,000
36	5	30	有限会社 麦飯石の水	39,512
37	6	4	匿名	3,000
38	6	6	株式会社大央ハウジング	100,000
39	6	6	大森 秀孝	5,000
40	6	8	匿名	2,000
41	6	11	竹尾 智菜美	1,000
42	6	17	長濱眼科	3,000
43	6	20	大森 秀孝	5,000
44	6	20	伊良部 鳳大	3,000
45	6	21	株式会社 かね屋	1,000
46	6	21	匿名	1,000
47	6	23	大森 秀孝	3,000
48	6	24	渡久山 光宏	2,500
49	6	24	平良 誠	1,500
50	6	24	座覇 太美子	1,500

NO	月	日	名 前	金 額(円)
51	6	27	匿名 (物品:はがき)	682
52	6	29	横山 英之 (物品:切手・はがき)	93,669
53	6	30	大森 秀孝	5,000
54	6	30	全保連株式会社	6,000,000
55	6	30	宮城 恵利子	10,000
56	6	30	渡口 正	30,000
57	6	30	宮里 加代子	100,000
58	7	4	匿名	3,000
59	7	6	ピュアペットクリニック 野中 哲	110,753
60	7	7	匿名	3,000
61	7	11	揚羽屋	1,000
62	7	11	匿名	2,000
63	7	17	長濱眼科	3,000
64	7	21	株式会社 かね屋	1,000
65	7	25	株式会社サンシャイン	88,000
66	7	25	有限会社 麦飯石の水	50,053
67	7	29	渡久山 光宏	2,500
68	7	29	平良 誠	1,500
69	7	29	座覇 太美子	1,500
70	8	2	株式会社フォーモスト・ブルーシール北谷店	11,868
71	8	2	MISTY	3,961
72	8	3	眞喜志 和	3,000
73	8	5	平良 晶	3,000
74	8	5	匿名	3,000
75	8	5	匿名	1,000
76	8	10	大城 章子	3,000
77	8	10	スーパーチャレンジセンターミライ	19,068
78	8	11	揚羽屋	1,000
79	8	22	匿名	1,000
80	8	22	株式会社 かね屋	1,000
81	8	23	有限会社セイアン	20,000
82	8	26	渡久山 光宏	2,500
83	8	26	平良 誠	1,500
84	8	26	座覇 太美子	1,500
85	8	29	医療法人麻の会 首里城下町クリニック	50,000
86	9	1	三和金属株式会社	100,000
87	9	2	てだこボウル	9,261
88	9	4	匿名	3,000
89	9	5	匿名	3,000
90	9	7	匿名	3,000
91	9	7	揚羽屋	1,000
92	9	8	渡部 純夫	20,000
93	9	12	有限会社 麦飯石の水	37,368
94	9	16	匿名	3,000
95	9	21	株式会社いなんせ典礼	120,000
96	9	21	匿名	1,000
97	9	21	株式会社 かね屋	1,000
98	9	22	仲間 正樹	3,000
99	9	23	渡久山 光宏	2,500
100	9	23	平良 誠	1,500

日付順に掲載※敬称は省略させていただきます。※お名前の開示は承諾を得ています。

【小計】 7,400,956

2022年度 寄付金一覧 DONATION LIST 2

2021年4月1日～2022年3月31日

NO	月	日	名 前	金 額(円)
101	9	23	座覇 太美子	1,500
102	9	26	匿名	5,000
103	10	4	匿名	3,000
104	10	5	匿名	3,000
105	10	6	有限会社 麦飯石の水	46,785
106	10	11	揚羽屋	1,000
107	10	21	株式会社メガネ一番	374,018
108	10	21	匿名	1,000
109	10	21	株式会社 かね屋	1,000
110	10	23	伊良部 鳳大	5,000
111	10	25	小谷 理恵	500
112	10	28	渡久山 光宏	2,500
113	10	28	平良 誠	1,500
114	10	28	座覇 太美子	1,500
115	11	4	匿名	3,000
116	11	4	大森 秀孝	5,000
117	11	9	吉田 晋介	10,000
118	11	10	匿名(物品:はがき・切手)	3,796
119	11	10	匿名	3,000
120	11	11	揚羽屋	1,000
121	11	18	萩原 祥禎	50,000
122	11	21	匿名	1,000
123	11	21	株式会社 かね屋	1,000
124	11	25	渡久山 光宏	2,500
125	11	25	平良 誠	1,500
126	11	25	座覇 太美子	1,500
127	11	25	オキナフインターナショナルスクール	30,000
128	11	28	大森 秀孝	3,000
129	11	30	宇良 富江	50,000
130	12	1	匿名	9,000
131	12	1	フィールドフェザー有限公司	9,973
132	12	4	匿名	3,000
133	12	8	上田 肇	3,000
134	12	10	金城 福則	11,000
135	12	11	揚羽屋	1,000
136	12	12	匿名(物品:はがき)	9,825
137	12	15	有限会社 麦飯石の水	13,990
138	12	15	竹田 利恵子	3,000
139	12	19	打田 寛臣	3,000
140	12	20	首里キャッスルライオンズクラブ	50,000
141	12	21	岸本 隆一	100,000
142	12	21	匿名	1,000
143	12	21	株式会社 かね屋	1,000
144	12	21	匿名	6,549
145	12	23	渡久山 光宏	2,500
146	12	23	平良 誠	1,500
147	12	23	座覇 太美子	1,500
148	12	23	匿名(物品:クーポン券500円×10枚)	5,000
149	12	26	匿名	13,605
150	12	29	匿名	4,000

NO	月	日	名 前	金 額(円)
151	12	30	匿名腰 義裕	5,000
152	12	30	匿名	10,000
153	1	4	匿名	3,000
154	1	6	伊藤 浩二	30,000
155	1	10	岸本 綾乃	3,000
156	1	11	揚羽屋	1,000
157	1	18	匿名(物品:はがき)	1,260
158	1	18	匿名	5,000
159	1	20	匿名	5,000
160	1	23	匿名	1,000
161	1	23	株式会社 かね屋	1,000
162	1	27	株式会社サンシャイン	76,000
163	1	27	匿名(物品:伝の心2台、吸引機1台)	154,000
164	1	27	渡久山 光宏	2,500
165	1	27	平良 誠	1,500
166	1	27	座覇 太美子	1,500
167	2	1	源河 朝治	10,000
168	2	1	匿名	5,000
169	2	2	砂川 信雄	10,000
170	2	4	匿名	3,000
171	2	7	農業生産法人 株式会社ばるず	6,858
172	2	11	揚羽屋	1,000
173	2	12	匿名	5,000
174	2	20	匿名	5,000
175	2	21	匿名	1,000
176	2	21	株式会社 かね屋	1,000
177	2	24	渡久山 光宏	2,500
178	2	24	平良 誠	1,500
179	2	24	座覇 太美子	1,500
180	2	27	匿名	5,000
181	3	4	匿名	3,000
182	3	10	匿名	3,000
183	3	10	匿名	5,000
184	3	11	揚羽屋	1,000
185	3	22	匿名	1,000
186	3	22	株式会社 かね屋	1,000
187	3	23	匿名(物品:切手)	2,260
188	3	24	渡久山 光宏	2,500
189	3	24	平良 誠	1,500
190	3	24	中田 太美子	1,500
191	3	26	赤嶺 竹哉	5,000
192	3	30	株式会社琉葉	17,236
193	3	31	沖銀Smart募金(11件)	10,000

【2ページ目小計】1,280,155

●2022年度寄付金総額
8,681,111円

2022年度 法人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

法人賛助会員(10,000円/年) 法人賛助会員 120法人

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
1	訪問看護リハビリステーションhappiness
2	(株) K. Turtles
3	(同) ONE live
4	(株) アイアム
5	愛聖クリニック
6	(株) アクティブ
7	(資) 新垣自動車工業
8	いくみ皮膚科クリニック
9	伊佐内科クリニック
10	稲福内科医院
11	(株) いなんせ典礼
12	訪問看護ステーションいやしの邦
13	浦添さかい眼科
14	訪問看護ステーションうんな
15	おおにし医院
16	岡野法律事務所
17	沖映通り眼科
18	(社) 沖縄県栄養士会
19	(資) 沖縄矢崎販売
20	沖縄病院
21	(株) 沖縄ネット不動産
22	沖縄メディカル訪問看護ステーション
23	沖縄県農業協同組合
24	(株) 興ハウジング
25	訪問看護ステーションおもととよみの杜
26	おもと会 統括リハビリテーション部
27	オリオンビール(株)
28	恩納クリニック
29	(株) 上咲組(かみさきぐみ)
30	神谷医院
31	かりまた内科医院
32	(株) クオサ
33	くすみ薬局
34	(株) 国建
35	ケアコネクト
36	玄米クリニック
37	こころクリニック
38	訪問看護ステーションこころのかて
39	コザクリニック
40	こばし内科クリニック
41	こもれ陽訪問看護ステーション
42	サザン歯科まえた
43	(株) ざまみダンボール
44	さわやか歯科クリニック
45	サンクス
46	潮平病院
47	じのん整形外科クリニック
48	(株) 住宅管理コンサルタント
49	首里城下町クリニック第一
50	首里城下町クリニック第二
51	(株) 舜
52	城間クリニック
53	しんざと内科
54	(資) 新地開発
55	(資) スタプランニング
56	すながわ内科クリニック
57	空と海とクリニック
58	(有) 太陽印刷
59	(株) 大央ハウジング
60	(株) 大成ホーム

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
61	大和商工(株)
62	(有) タカラ
63	高良登記測量事務所
64	たつや脳神経外科
65	中部協同病院
66	中部地区医師会 訪問看護ステーション
67	訪問看護ステーションちゅらぐる
68	(有) ディー・ランド
69	(有) ティダエステート
70	(株) テルソウ
71	テルモ(株) 沖縄支店
72	(株) ドウ・オキナワ
73	どこでもWork(株)
74	(株) 長堂材木店
75	なかむら内科おなかクリニック
76	仲本病院
77	(株) 名城
78	那覇かなぐすく皮膚科
79	南西医療器(株)
80	(有) ナンセイ日本商事
81	南部徳洲会病院
82	(有) 仁開商事
83	日本交通(株)
84	ねたて内科クリニック
85	(株) ハート住宅
86	(株) パートナー
87	ハートライフ病院
88	はいさいクリニック
89	(有) 麦飯石の水
90	訪問看護ステーションはっぴー
91	はびねず訪問看護ステーション
92	光クリニック
93	比嘉歯科医院
94	訪問看護ステーションぱくじ
95	ふたば訪問看護ステーション
96	(有) プロGRESS
97	(株) ホカマ
98	外間眼科医院崇元寺
99	(有) 北辰ハウジング
100	北部皮膚科クリニック
101	(株) ホープネクスト
102	(株) ホープ住宅
103	前田胃腸科医院
104	牧港眼科
105	又吉内科クリニック
106	まつおTCクリニック
107	松城クリニック
108	松本歯科クリニック
109	まみ皮膚科クリニック
110	(株) まる不動産
111	訪問看護ステーションみかん
112	嶺井第一病院
113	みやぐに皮膚科
114	(株) メガネ一番
115	(有) 名桜不動産
116	ゆずりは訪問診療所
117	ライフホームズ(株)
118	琉球ダイハツ販売(株)
119	(株) 琉行
120	ワンズトラスト(株)

2022年度 個人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

法人賛助会員数 120 団体

個人賛助会員数 197 名

賛助会員合計 317 会員

個人賛助会員(3,000円/年)

	お名前 (あいうえお順)	敬称略
1	赤嶺 典子	
2	安里 尚司	
3	天久 佑希子	
4	新垣 恵子	
5	新田 ゆき子	
6	井藤 善夫	
7	宇江城 綾乃	
8	打田 寛臣	
9	大城 逸子	
10	大城 薫	
11	岡橋 牧子	
12	兼島 喜代子	
13	川口 美怜	
14	岸本 綾乃	
15	岸本 克巳	
16	岸本 克守	
17	岸本 智子	
18	岸本 時江	
19	宜保 良子	
20	金城 福則	
21	金城 光子	
22	金城 由子	
23	具志堅 満昭	
24	久保田 淑子	
25	黒木 恵子	
26	桑江 良榮	
27	近藤 力	
28	崎浜 里江子	
29	志慶真 八重	
30	島 かおり	
31	島袋 恵	
32	下地 一明	
33	下地 ヒコ子	
34	諸喜田 美智代	
35	新城 健一	
36	砂川 竹子	
37	楚南 兼彦	
38	平良 邦雄	
39	高橋 政子	
40	高良 朋子	
41	田里 秀美	
42	知念 江利美	
43	知念 智	
44	知花 なおみ	
45	津覇 直也	
46	出花 秀子	
47	照喜名 将吾	
48	照屋 兼一	
49	照屋 幸子	
50	當間 由美子	

	お名前 (あいうえお順)	敬称略
51	友利 潤子	
52	豊川 加代子	
53	豊川 喜世子	
54	仲宗根 清美	
55	仲間 丈晴	
56	長嶺 幸輝	
57	仲村 明	
58	仲村 けい子	
59	仲村 みどり	
60	西平 正子	
61	根間 陵彰	
62	萩原 祥禎	
63	橋本 操	
64	花城 廣	
65	比嘉 正秀	
66	比嘉 佑一郎	
67	東 与一	
68	東長田 吉美	
69	日野 成子	
70	比屋根 美智子	
71	譜久村 良三	
72	富名腰 一郎	
73	富名腰 義裕	
74	真栄里 優	
75	前嶋 裕子	
76	前田 真頭	
77	松尾 日出輝	
78	松田 桜子	
79	宮城 義正	
80	武藤 徹太郎	
81	屋良 幸助	
82	吉田 晋介	
83	与那覇 正規	
84	森山 玲子	
85~197		匿名希望

募金箱設置協力店 DONATION BOX INSTALLATION

順不同 敬称略

フォーモストブルーシール北谷店	沖縄トヨタ株式会社 トヨタタウン港川店
T.T BOWL てだこ	沖縄トヨタ株式会社 トヨタタウン松本店
西崎オートサービス	沖縄トヨタ株式会社 トヨタタウンシーサイド店
マリンショップぶくぶく	山城二輪
串焼き屋あだん	社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部
ホテルまるき	全保連株式会社
水のサンクス	全保連コントロールセンター
株式会社琉薬	シャトル・ケア
恒和ペイント株式会社	有限会社だいにちシール
さわやか歯科クリニック	株式会社かりさら
auショップ久茂地店	上間菓子店
沖縄県栄養士会	HAIR & MAKE EARTH 沖縄新都心店
T-SHIRT-YA.COM 国際通り店	2DATOP (ツダトップ) ダンススタジオ
T-SHIRT-YA.COM 北谷店	株式会社いなんせ典礼
カラカラとちぶぐわ〜	照正組
ジョッキハウス	株式会社 K. Turtles
しゃしんやきんちゃんDigi-pit店	メキシコ雑貨tope
日本交通株式会社	ひめゆり歯科医院
有限会社 FEC オフィス	メガネ一番 各店 (21店舗)
スーパーチャレンジセンターミライ	麦飯石の水 各店 (22店舗)

募金箱の設置ご協力の皆様！

計 81店舗

ご来店のお客様及びスタッフの皆様
ご支援に深く御礼を申し上げます。



アンビシャスの概要 OVERVIEW

法人の種類	認定特定非営利活動法人
団体名(法人名称)	認定NPO法人アンビシャス
団体名ふりがな	にんてい えぬびいおうほうじん あんびしゃす
法人登記名	特定非営利活動法人アンビシャス
団体の概要	主に難病患者や家族に対し、療養や日常生活での悩み不安等の相談をうけ、その解消を図るために、患者力の向上や関係機関との連携や、情報提供・講演会・研修会を行うことで、より質の高い生活を過ごせることを目的とします。
代表者	理事長 迫 幸治 (さこ ゆきはる)
所在地	〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階
代表メールアドレス	info@ambitious.or.jp
電話番号	098-951-0567
FAX	098-951-0565
連絡可能時間	10時00分～17時00分
連絡可能曜日	月～金（年末年始・公休日を除く）
団体ホームページ	http://www.ambitious.or.jp
任意設立年月日	2001年 7月 4日
設立総会	2001年10月28日
法人格取得年月日	2002年 2月14日
認定NPO有効期間	2014年12月01日から 2024年11月30日まで 内閣府NPOサイト https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/047013042
法人番号	3360005000774
役員数・職員数合計	理事9名、職員6名、会員：正会員13名、賛助会員317名（法人含む）2023年3月末現在
所轄官庁	NPO所轄：沖縄県 子ども生活福祉部 消費・暮らし安全課
委託事業	委託事業所轄：沖縄県 保健医療部 地域保健課、那覇市
第三者評価	CANPANプロジェクトは、日本財団および特定非営利活動法人CANPANセンターによる、市民、NPO、企業などの活動を支援し、連携を促進することで、民間主体のより豊かな社会づくりに貢献することを目指すソーシャルプロジェクトです。 情報開示レベル★★★★★（満点の5つ星です） http://fields.canpan.info/organization/detail/1352917999
内閣府開示	内閣府NPOホームページ 同サイトでは、全国の法人NPOを紹介しています。 当団体は下記参照 https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/047013042

アンビシャスの変遷 TRANSITION

年号	主な出来事	受給者数 沖縄県 (件)
平成13年 2001年	・膠原病友の会代表らと難病センター構想決意7月4日 ・法人化に向けて設立総会（中央保健所にて）10月28日 迫幸治理事長就任	
平成14年 2002年	・アンビシャスNPO法人化（2月14日） ・会報誌では会の意味や病名の紹介・患者会数：2団体	4,201
平成15年 2003年	・全国難病センター研究会に参加 ・匿名希望の体験談、会報誌掲載開始	4,892
平成16年 2004年	・同病の人との交流を求め会報誌体験談、顔出し開始 ・会報誌ポエム開始	5,007
平成17年 2005年	・県から難病相談・支援センター委託事業開始 ・難病シンポジウム開催・沖縄指笛発売	5,256
平成18年 2006年	・パーキンソン病・潰瘍性大腸炎問題 ・もやの会（もやもや病）発足・会報誌小嘶コーナー開始（ALS患者寄稿）	5,584
平成19年 2007年	・FOP（進行性骨化性線維異形成症）難病指定される ・うちなー紀聞テレビ放送（RBC）・看護学生在宅研修受け入れ ・VHO-net沖縄学習会開始・千羽鶴ボランティア開始	5,951
平成20年 2008年	・日本ALS協会沖縄県支部設立 ・会報誌音声版開始／ポッドキャスト配信 ・照喜名通が沖縄コロニー大賞受賞・就業支援モデル事業受託	6,360
平成21年 2009年	・難病雇用助成金開始 ・国税庁から沖縄県で初の「認定NPO法人」として認められる	6,700
平成22年 2010年	・会報誌メールマガジン配信開始 ・祝会報誌100号	6,967
平成23年 2011年	・総務省委託えんぽーと（遠隔医療支援システム）スタート ・筋無力症友の会 沖縄県支部設立	7,479
平成24年 2012年	・2月14日法人設立 満10周年・患者会数：13団体 ・日本網膜色素変性症協会沖縄支部設立	7,978
平成25年 2013年	・難病が障害範囲枠に追加される ・災害時電源確保・県委託事業（発電機設置等）	8,371
平成26年 2014年	・難病法可決成立、医療費助成110疾患から平成27年1月1日開始 ・米国婦人福祉協会AWWAの寄付金で会報誌表紙がカラー印刷化	8,703
平成27年 2015年	・平成27年7月には、306疾患が医療費助成対象となる。 障害者総合支援法で難病対象332疾患も連動して追加となる。 ・クラウドファンディングで多数の支援を得て、視線入力装置を購入	9,812
平成28年 2016年	・ハローワークの難病患者就職サポーターが出張相談会実施開始 ・QRコードを活用した災害時情報共有（えんぽーと）を開始。 ・メンタルヘルス（マインドフルネス瞑想法等）の学習会開催。	10,496
平成29年 2017年	・ホームページをスマホ用にも対応でリニューアル ・3年間の経過措置切れる／指定難病の対象疾患が330疾患に	10,184
平成30年 2018年	・在宅就労支援として沖縄指笛の製造販売を再開 ・ALSの人工呼吸器装着、療養場所調査を開始	10,318
令和元年 2019年	・在宅就労支援の強化として、クラウドファンディング実施 ・指定難病の対象疾患が333疾患に／新型コロナ流行でイベント縮小	10,333
令和 2年 2020年	・医療的ケア者（児）の非常時電源確保講演等（田辺三菱製薬助成金） ・難病相談支援センター九州ブロック会議開始 ・沖縄指笛が沖縄県優良県産品「その他部門」最優秀優良県産品認定 ・那覇市ふるさと納税で沖縄指笛の提供開始	10,711
令和 3年 2021年	・小児慢性特定疾病等自立支援事業開始（沖縄県・那覇市） ・公式LINE開始 ・指定難病対象疾患数が338疾患に／小児慢性特定疾病対象疾患数788疾患	11,924
令和 4年 2022年	・小児慢性特定疾病等自立支援事業で10代の方対象の「しゃべり場」開催 ・公式Instagram(Facebook)ほぼ毎日配信開始 ・RDD2023を会場とオンラインのハイブリットを初開催	

謝辞 ACKNOWLEDGMENTS

2022年度、アンビシャスでは193件 868万円余りのご寄付をいただきました。

また賛助会員317件（個人197名、法人120団体）と多くの皆様が会員としてアンビシャスの活動を支えていただいています。

長引くコロナ禍の厳しい経済状況の中にもかかわらず、この様に多くの皆様の心温まるご支援により、難病の方々へ難病情報誌のご提供や、医療相談会等の支援活動を行うことが出来ました。

皆様のご支援に改めて厚く御礼を申し上げます。

会報誌広告掲載（順不同） 敬称略

全保連株式会社
土地家屋調査士 伊波 学
株式会社クオサ
沖縄トヨペット株式会社
首里城下町クリニック
大塚製薬株式会社
琉球ゴールデンキングス
株式会社 照正組

ホームページ協賛広告（順不同）敬称略

アステラス製薬株式会社
岡野法律事務所
ファイザー株式会社

研修会支援(交通費等支援)(順不同)敬称略

ファイザー株式会社
アステラス製薬株式会社

5万円以上寄付者（日付順） 敬称略

麦飯石の水（募金箱）	株式会社 いなんせ典礼
株式会社サンシャイン	メガネ一番
イオン琉球株式会社	首里キャスルライオンズクラブ
株式会社大央ハウジング	岸本 隆一（琉球ゴールデンキングス）
全保連株式会社	萩原 祥禎
三和金属株式会社	宇良 富江
ピュアペットクリニック	宮里 加代子
首里城下町クリニック	横山 英之(物品：切手・はがき)
驥尾の会（模合参加500円）	匿名（現物寄付、伝の心他）

誌面で入りきれない数多くの皆様に感謝申し上げます。

理事

Board Members

2023年3月末現在

理事長

President

迫 幸治

Yukiharu Sako

副理事長

Vice President

照喜名 通

Toru Terukina

仲嶺 朋広

Tomohiro Nakamine

上原 実

Minoru Uehara

岡野 浩巳

Hiromi Okano

與那城 圭

Kei Yonashiro

田名 毅

Takeshi Tana

小阪 亘

Wataru Kosaka

比嘉 晶子

Akiko Higa

監事

Controller

大城 浩

Hiroshi Ooshiro

事務局長

General Director

仲村 明

Akira Nakamura

アンビシャスの最新活動

読み込まない方を
隠してスキャン↓



Facebook @ambitious.npo



公式LINE @563aheli



活動にご支援ください

アンビシャスの活動は、皆様からの寄付で実現しています。
私達とともに、難病の方を救う力となってください。

寄付のお申し込み・資料請求は

電話 098-951-0567 (10:00-17:00平日)

www.ambitious.or.jp

アンビシャスは「認定NPO法人」として所轄庁の認定を受けています。
アンビシャスへの寄付は、所得税、法人税の税制優遇措置(寄付金控除)
の対象となっています。優遇措置を受けるためには申告が必要です。